



ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 12

R.2(2020年)3月発行
おもちゃひろばロリポップ

『新しい友だち モルちゃん,s』



白浜養護学校では、今年度もたくさんのすてきな布おもちゃ・教材をロリポップさんから借りています。

新しく作っていただいたモルモットのぬいぐるみ5匹。毛並みがよく、とても触り心地がよいです。また、ずっしりとリアルな重みを感じることができ、膝に乗せると安心感があります。毎週水曜日の昼休みに行っている「**にこにこクラブ**」(ロリポップの布おもちゃを図書コーナーにいくつか展示し、自由に遊んでもらう時間)でお披露目したところ、さっそく、おいしい御飯(海苔巻きやホットケーキなど)を作って食べさせる子や本を読ませてあげる子がいました。

もっと仲良くなってもらえるようにと、子ども達に名前を考えてもらったところ、リボンの色などをヒントに、『あお』『みどり』『りんご』『いちご』『バナナ』という素敵な名前が付きまして。2階建てのかっこいいおうちもでき、遊びがますます広がりそうです。(^^)



白浜養護学校 地域支援担当 教諭

ソフトボール遊び(布グローブ、布ボール)

今年度は小学部の高学年で「**ソフトボール**」を簡易化して取り組みもうと考え、グローブとボールの布おもちゃの依頼をし、作っていただきました。

グローブは手のひらの部分にマジックテープのついたボールがくっつくようになっています。また、利き手によってつけるグローブの違いがわかるように赤を右利き、青を左利きとして作っていただきました。転がるボールや飛んでくるボールもくっついて簡単に捕球できるので、積極的にボールを追いかけてたり、動いているボールにグローブを合わせたりする動きを引き出すことができました。



子どもたちにとって使い方がわかりやすく、素材の肌触りもよかったので、スムーズに「**ソフトボール**」に取り組みことができ、ボールを捕ったときの達成感を味わうことができたようです。

白浜養護学校 小学部担任 一杉 亮

おでんにんじゃ参上！～おでんのゆの布絵本から～



白浜養護学校では、毎年11月に白浜祭を開催しています。小学部から高等部までの全学年のステージ発表、子どもたちの作品の展示や販売、PTAのバザー等があり、学校をあげての大きな行事です。その白浜祭で、小学部2年生は、ロリポップに作っていただいた『おでんのゆ』の布絵本にヒントを得て『おでんにんじゃ』というステージ発表をしました。

『おでんのゆ』は、いろいろな具がお鍋のお風呂に順番に入り、全員入っておでんが完成するというお話です。元気な2年生に合わせて、ガスコンロのトンネルをくぐり、ベルを鳴らしてからお鍋に入り、みんなでダンスを踊っておでん完成！という設定にしました。

張り切って演じるその様子が忍者のようで、おでん+忍者で『おでんにんじゃ』となりました。練習に入る前には、布絵本の読み聞かせを通して、自分たちがおでんになるイメージを子どもたちに持ってもらうことができました。練習では、何度も繰り返して動きを確認しました。

そしていざ、発表当日。かわいいおでんの具のついた衣装を着てステージに登場。みんな張り切ってトンネルをくぐり、ベルを鳴らしてかわいい『おでんにんじゃ』になりきりました。

原作の『おでんのゆ』とは、少し違う内容の発表になりましたが、たくさんの拍手をもらって、とても誇らしげな2年生たちでした。

白浜養護学校 地域支援担当 教諭



新作絵本 「どうぶつえん」



●デザイン
穂刈 弓

Information



● 藤沢市立白浜養護学校PTAだより「しらはま」91号で、ロリポップのおもちゃが、検診や練習のためのグッズとして紹介されました。

● おもちゃの新作のアイデアを募集中です。
● 白浜養護学校で2020年6月に 開催予定の展示会にも是非足を運んで会員の皆様のご意見 ご提案をお寄せください。

編集後記

ロリポップの布おもちゃが、子供達の心に安心感、温かさ、色や素材への興味、ワクワクドキドキの発想などを引き出していることが、現場で使ってくださる先生方のお話からよくわかります。

おもちゃを使う子供達の笑顔が、私達ロリポップのメンバーにとって、力となります！（木内）